

1 入荷

搬入



加工管の入荷時は端部の変形や傷、発錆などが無いことを確認して下さい。

* 屋外で保管する場合は、雨水の当たるところへは保管しないようお願いします。

2 養生材の除去

端部の養生材はなるべく、施工直前まで除去しないで下さい。継手内蔵のOリングに異物が付着すると漏れが発生する恐れがあります。カッターナイフ等での養生材の切除はOリングを切断する恐れがあるため注意下さい。



3 吊り・支持金具の取り付け、仮吊り

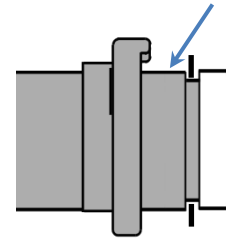
所定の位置に吊り金具、支持金具を取り付け下さい。



各加工管の接合は仮吊りした状態で実施しますが、各管は、できるだけ、水平、直角に仮保持してください。斜めや配管軸のずれがある場合は、接合が困難となる場合があります。

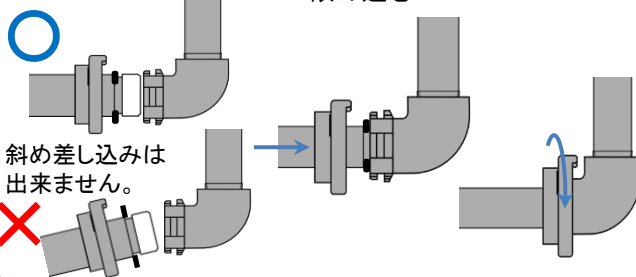
4 シール面の確認

シール面に傷や剥がれ、異物の付着などが無い事を確認して下さい。



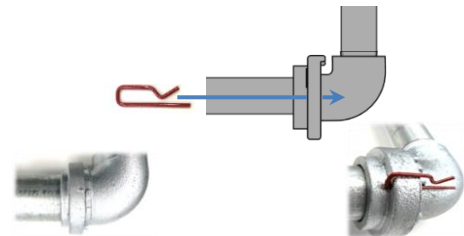
5 継手とナットの接合

①管を継手に対して真っすぐ差し込む。 ②ナットを嵌合位置へ嵌め込む ③ナットを時計方向に手で回す



6 ロックピンの差し込み

ナットのロックピン差し込み穴は2箇所ありますが、目視確認が出来る方(1ヶ所でもOK)にロックピンを差し込み下さい。



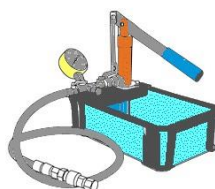
7 吊り・支持金具の固定

接合完了箇所の吊り金具、支持金具を固定する。



8 試験

対象区域毎で、所定水圧による漏れ試験を実施して下さい。試験条件や判定方法は、工事仕様に従って下さい。



★配管の支持固定★

接合後も鋼管は回るため、チーズの枝部や、配管の端部には追加の支持が必要となる場合があります。

SPロックの最高使用圧力は1.4MPaです。

適用できる消火設備は、屋内消火設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、泡消火設備、屋外消火栓設備、です。

これ以外の設備へは使用できません。